

5 / 1 2-4・5 財務会計 I 「5伝票の集計と転記」

映像資料はこちらから . . .



URL : <https://youtu.be/7rU5nMu8ctg>

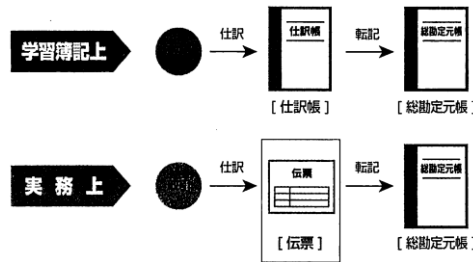
1 証ひょうと伝票

【1】証ひょう

帳簿への記入は、取引の事実を証明する資料にもとづいて行う。たとえば、商品の仕入取引は、仕入先からの納品書によって記帳する。このような取引の事実を証明する資料を**証ひょう**という。証ひょうには、相手方から受け取る納品書・領収証などや、当方が作成して相手方に渡す納品書・領収証・小切手などの控えがある。

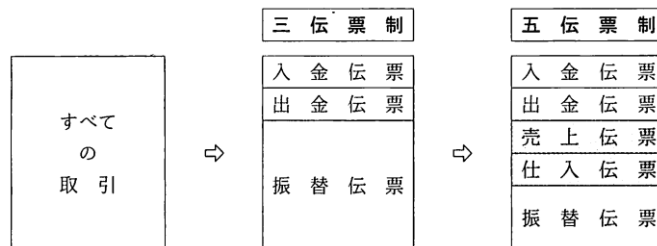
【2】伝票

伝票とは取引を記録(仕訳)する紙片(かみきれ)で、仕訳帳の代わりに用いられるものをいう。実務上は、仕訳帳よりも伝票を用いることのほうが多い。伝票に記入することを**起票**という。



2 3 伝票制と 5 伝票制

伝票には**入金伝票**、**出金伝票**、**振替伝票**、**仕入伝票**、**売上伝票**があり、どの伝票を利用するかによって**3 伝票制**と**5 伝票制**に分類される。



3 3 伝票制

3 伝票制とは**入金伝票**、**出金伝票**、**振替伝票**の 3 つの伝票を用いる方法をいう。

【1】入金伝票

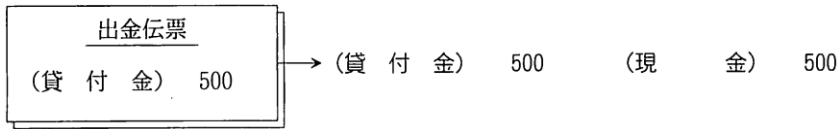
入金取引を記入する伝票なので、仕訳上の借方科目は[現金]となる。入金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の貸方科目である。



入金伝票	
売掛金	798,000
受取手数料	24,000
当座預金	300,000
()	()

【2】 出金伝票

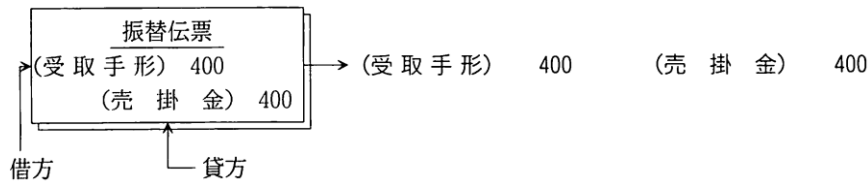
出金取引を記入する伝票なので、仕訳上の貸方科目は[現金]となる。出金伝票に記載される勘定科目は、仕訳上の貸方科目である。



出金伝票	
当座預金	419,000
買掛金	394,000
消耗品費	8,000
()	()

【3】 振替伝票

入金取引および出金取引以外の取引を記入する伝票なので、振替伝票には仕訳上の借方科目も貸方科目も記入される。

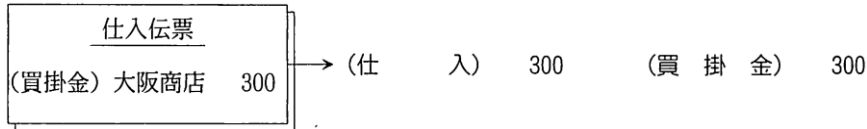


振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
支払手形	156,000	当座預金	156,000
当座預金	240,000	売掛金	240,000
消耗品費	15,000	当座預金	15,000
買掛金	501,000	支払手形	501,000
消耗品費	23,000	当座預金	23,000
()	()	()	()

5 伝票制とは、3 伝票制で利用した入金伝票、出金伝票、振替伝票の 3 つの伝票のほかに、**仕入伝票**と**売上伝票**を用いる方法である。

【1】仕入伝票

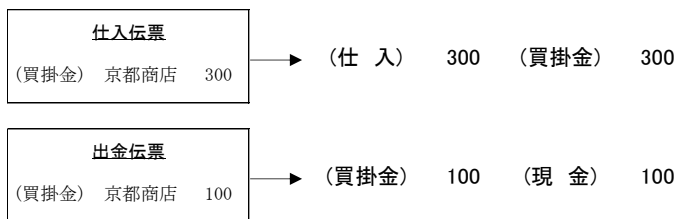
仕入取引を記入する伝票であり、仕訳上の借方科目は[仕入]、貸方科目は[買掛金]となる。



したがって、掛け以外の現金払いや小切手払いなどの仕入取引は、いったん全額を、掛けて仕入れたと擬制して伝票の記入を行うため、仕入伝票に[現金]や[当座預金]と記入されることはない。ただちに、買掛金を支払ったと考え、同時に入金伝票や振替伝票が作成される。

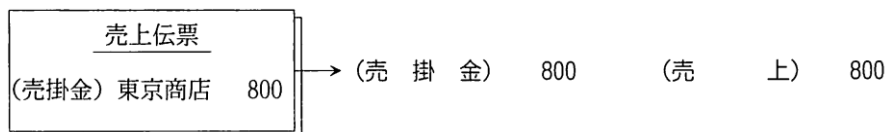
【例】 京都商店から商品¥300 を仕入れ、代金のうち¥100 は現金で支払い、残額は掛けとした。

(仕 入) 300	(買掛金) 200	→	(仕 入) 300	(買掛金) 300
	(現 金) 100		(買掛金) 100	(現 金) 100



【2】売上伝票

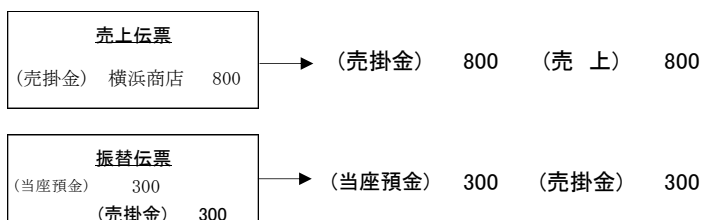
売上取引を記入する伝票であり、仕訳上の借方科目は[売掛金]、貸方科目は[売上]となる。



したがって、掛け以外の売上取引があっても、いったん全額を、掛けて売り上げたと擬制して伝票の記入を行うため、売上伝票に[現金]や[当座預金]と記入されることはない。ただちに、売掛金を受け取ったと考え、同時に入金伝票や振替伝票が作成される。

【例】 横浜商店に商品¥800 を売り渡し、代金のうち¥300 は同店振り出しの小切手で受け取り、ただちに当座預金に預け入れた。なお、残額は掛けとした。

(売掛金) 500	(売 上) 800	→	(売掛金) 800	(売 上) 800
(当座預金) 300			(当座預金) 300	(売掛金) 300



【3】返品と値引き

返品と値引きについては、本来、伝票に赤字で記入する。ただし、全商簿記検定2級ではゴシック体(太字)で、**[戻し(仕入戻し)]**や**[戻り(売上戻り)]**または**[値引き]**などと記入される。

仕入伝票			
(買掛金) 大阪商店 180	→	(買掛金) 180	(仕入) 180
戻し			

売上传票			
(売掛金) 東京商店 120	→	(売上) 120	(売掛金) 120
戻り			

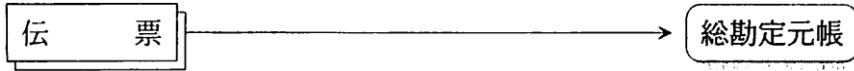
売上传票	
杉並商店 838,000	
新宿商店 749,000	
中野商店(値引) 26,000	
() ()	

仕入伝票	
足立商店 562,000	
目黒商店(戻し) 36,000	
渋谷商店 679,000	
文京商店 734,000	

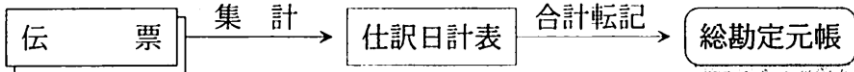
5 総勘定元帳への転記

伝票に行われた仕訳を総勘定元帳の各勘定へ転記するには、いろいろな方法がある。

【1】伝票から直接転記する方法



【2】伝票をいったん仕訳日計表に集計してから合計転記する方法



仕訳日計表とは、合計試算表の一種で 1 日分の伝票を集計する表をいう。

全商第 76 回 2 級検定問題

愛知商店の 6 月 / 8 日の略式の伝票から、仕訳集計表 (日計表) を作成しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで集計すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取 引

6 月 / 8 日 豊田商店に商品 ¥430,000 を売り渡し、代金はさきに受け取っていた内金 ¥60,000 を差し引き、残額は掛けとした。

入金伝票	
売掛金	308,000
当座預金	213,000
受取利息	27,000
売掛金	186,000
() ()	

出金伝票	
当座預金	251,000
買掛金	167,000
広告料	98,000
買掛金	132,000
() ()	

売上传票	
岡崎商店	235,000
瀬戸商店	386,000
豊川商店	143,000
安城商店(戻り)	25,000
小牧商店	274,000
() ()	

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
買掛金	124,000	当座預金	124,000
受取手形	315,000	売掛金	315,000
当座預金	276,000	受取手形	276,000
広告料	153,000	当座預金	153,000
() ()		() ()	

仕入伝票	
豊橋商店	284,000
一宮商店(値引)	13,000
半田商店	265,000
西尾商店	34,000
稲沢商店	89,000
() ()	

6/18 (売掛金)370,000 (売 上)430,000 (売掛金)430,000 (売 上)430,000 **売上传票**
 (前受金) 60,000 (前受金) 60,000 (売掛金) 60,000 **振替伝票**

》仕訳集計表の作成手続き《

①入金伝票の金額を合計し、その合計額を現金勘定の借方に記入する。

¥308,000 + ¥213,000 + ¥27,000 + ¥186,000 = [¥]

②出金伝票の金額を合計し、その合計額を現金勘定の貸方に記入する。

¥251,000 + ¥167,000 + ¥98,000 + ¥132,000 = [¥]

仕 訳 集 計 表

平成〇年6月/8日

借 方	平	勘 定 科 目	平	貸 方
		現 金		
		当 座 預 金		
		受 取 手 形		
		売 掛 金		
		買 掛 金		
		()		
		売 上		
		受 取 利 息		
		仕 入		
		広 告 料		

③仕入伝票の金額(仕入戻し、値引きは除く)を合計し、仕入勘定の借方と、買掛金勘定の貸方に記入する。

$$¥284,000 + ¥265,000 + ¥34,000 + ¥89,000 = [¥ \quad \quad]$$

④仕入伝票の仕入戻し・値引きの金額を合計し、仕入勘定の貸方に記入する。 ¥13,000

⑤売上傳票の金額(売上戻り、値引きは除く)を合計し、売掛金勘定の借方と、売上勘定の貸方に記入する。

$$¥235,000 + ¥386,000 + ¥143,000 + ¥574,000 + \underline{¥430,000} = [¥ \quad \quad]$$

⑥売上傳票の売上戻り・値引きの金額を合計し、売上勘定の借方に記入する。 ¥25,000

⑦出金伝票の金額と振替伝票の借方票の金額を勘定科目ごとに分類・集計し、各勘定の借方に記入する。ただし、買掛金勘定の借方には仕入伝票の仕入戻し・値引きの合計額を加えた金額を記入する。

■当座預金:借方 出金¥251,000 + 振替¥276,000 = [¥ \quad \quad]

■受取手形:借方 振替¥315,000

■買掛金:借方 出金¥167,000 + ¥132,000 + 振替¥124,000 + 仕入値引¥13,000
= [¥ \quad \quad]

■(前受金):借方 振替¥60,000

■広告料:借方 出金¥98,000 + 振替¥153,000 = [¥ \quad \quad]

⑧入金伝票の金額と振替伝票の貸方票の金額を勘定科目ごとに分類・集計し、各勘定の貸方に記入する。ただし、売掛金勘定の貸方には売上傳票の売上戻り・値引きの合計額を加えた金額を記入する。

■当座預金:貸方 入金¥213,000 + 振替¥124,000 + ¥153,000 = [¥ \quad \quad]

■受取手形:貸方 振替¥276,000

■売掛金:貸方 入金¥308,000 + ¥186,000 + 振替¥315,000 + ¥60,000 + 売上戻り¥25,000
= [¥ \quad \quad]

■受取利息:貸方 入金¥27,000

⑨仕訳集計表の借方欄と貸方欄の各金額を合計し、合計額の一致を確かめてから締め切る。

[¥ \quad \quad]

全商 80 回検定問題

(2) 下記の略式の伝票 (5月/8日) を集計したさいの仕訳集計表の (a) ~ (c) に入る金額を計算しなさい。ただし、次の取引について、必要な伝票に記入したうえで計算すること。なお、仕入・売上の各取引については、代金の決済条件にかかわらず、すべて、いったん掛け取引として処理する方法によっている。

取 引

5月/8日 山口商店から商品 ¥290,000 を仕入れ、代金のうち ¥200,000 は約束手形 #38 を振り出して支払い、残額は現金で支払った。

入金伝票	
当座預金	275,000
売掛金	460,000
受取手数料	22,000
()	()

出金伝票	
買掛金	170,000
当座預金	300,000
消耗品費	135,000
()	()

売上传票	
岩国商店	376,000
防府商店	281,000
下関商店(値引)	6,000
宇部商店	489,000
()	()

仕入伝票	
長門商店	167,000
柳井商店	418,000
萩商店(戻し)	15,000
()	()

振替伝票(借方)		振替伝票(貸方)	
当座預金	84,000	売掛金	84,000
消耗品費	28,000	当座預金	28,000
当座預金	269,000	受取手形	269,000
受取手形	395,000	売掛金	395,000
買掛金	171,000	当座預金	171,000
()	()	()	()

仕訳集計表
平成〇年5月/8日

借方	元	勘定科目	元	貸方
		現金		
		当座預金		(a)
		受取手形		
		売掛金		
(b)		()		
		買掛金		
		売 上		
		受取手数料		
		仕 入		
(c)		消耗品費		(c)

5/18 (仕 入)290,000 (支払手形)200,000
(現金) 90,000

↓ ↓ ↓ ↓ ↓ ↓

5/18 (仕 入)290,000 (買掛金)290,000 [仕入伝票]
5/18 (買掛金)200,000 (支払手形)200,000 [振替伝票]
5/18 (買掛金) 90,000 (現金) 90,000 [出金伝票]

A 当座預金:貸方 [¥ _____]

入金伝票の[相手勘定:当座預金]の金額と振替伝票の[貸方:当座預金]票の金額を合計する。

B 買掛金:借方 [¥ _____]

出金伝票の[相手勘定:買掛金]の金額と振替伝票の[借方:買掛金]票の金額と仕入伝票の仕入戻し・値引きの合計額を合計する。

C 貸借合計金額 [¥ _____]

追加取引を含めすべての伝票を合計する。入金伝票・出金伝票・売上传票[値引も含む]・仕入伝票[戻しも含む]・振替伝票の借方のみを合計する。